

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|----------------|----------------|---|------------------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 29-49 | 高等学校 | 外国語科 | コミュニケーション 英語Ⅲ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 109文英堂 | コⅢ 339 | NEW EDITION UNICORN English Communication 3 | | |

1

編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成することを目指し、以下の諸点に留意した。

各課への学習目標が明確に分かるように各UNIT（2課で1UNIT）冒頭にTARGETを3つ提示し、4技能を通じて目標に達成するためのさまざまな活動を用意した。

題材や内容の選別にあたっては、学習者一般の生活環境に合うと同時に、全体のバランスにも留意した。題材にはエッセー、物語、説明文、論説など多様な形式の英文を選定し、その内容についても、ものの考え方、社会、食物、伝統、環境、科学、文学など広く各部門に及ぶように留意した。国内外を問わず、かつ特定の分野や思想に偏らないよう留意し、多様なものの見方や考え方を育み他国の文化を尊重するグローバルな視野の獲得を目指した。

2

対照表

| 図書構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|-----------------|
| <p>LESSON 1</p> <p>■ Blocks to Solving Problems</p> <p>私たちが創造性を発揮し、問題を解決するのを阻む大きな障害物がある。それは外にあるのではなく、私たち自身の中に潜んでいる。知らず知らずのうちに、考え方に枠組みを作って、自由な発想をしにくくしてしまうという障害である。有名なパズルを解きながら、自由に発想することについて考える。</p> | <p>高校生は、これからより広い世界に出ていく。そこでは、いろいろな問題が待っているだろう。そんなときに覚えておいてほしい発想のヒントを、パズルという楽しい道具立てで提示した。(第2号)</p> | <p>24~29ページ</p> |

| | | |
|--|--|-----------------|
| <p>LESSON 2</p> <p>■ Ideas Aren't Cheap — They're Free</p> <p>創造性というのは、特別な人が特別な場面で発揮するものだと思っていないだろうか。じつは、普通の人間である私たちのふだんの生活の中でこそ、生かすべきものなのだ。日々創造性を発揮しようとする、いろいろなことが変わってくる。それを積み重ねていくことによって、人生は前向きに作られていくのだ。</p> | <p>LESSON 1とともに、自由な発想や創造性の大切さについて考える。これを基盤にして、先の課を学習してもらえばという意図で、本の冒頭に置いた。(第2号)</p> | <p>30~33ページ</p> |
| <p>LESSON 3</p> <p>■ We're Being Watched</p> <p>ロンドンでは一市民が監視カメラで一日に300回写されるといわれている。監視カメラは安心のための技術と考えられているが、限界がある。最も危険なのは、監視されることに全く抵抗を感じなくなる心である。</p> | <p>監視カメラが犯罪捜査に役立った事件の報道をよく目にするようになった。しかし、便利なものは便利ばかりではない、ということも知っておくべきだろうし、何でも無批判に受け入れることは危険でさえあるかもしれない。技術が諸刃の剣であることを考える、好適な材料として監視カメラを取り上げた。(第3号)</p> | <p>36~39ページ</p> |
| <p>LESSON 4</p> <p>■ How Robots Are Taking Over the World of Work</p> <p>AIの進歩によって人間の仕事が奪われるのではないかという不安に思っている人たちがいる。不利になる職種は何だろうか。結局、最も重要なのは、どの職種かということ以上に、その職業で高度な技術を習得し、その分野の仕事でいかなる変化にも対応できるかどうかである。</p> | <p>AIの進歩によって、どの職種が有利で、どれが不利なのかというのは、自分の進路を決めようとしている高校生にとって一大関心事だろう。そうした問題は、英語を読み、考える動機付けともなるだろう。(第2号)</p> | <p>40~43ページ</p> |
| <p>LESSON 5</p> <p>■ Rediscovering Washoku</p> <p>2013年に無形文化遺産に指定された「和食」。それによって海外に和食のすばらしさを伝えることができると同時に、われわれ日本人にとっても和食の伝統と価値を再発見できるよい機会となる。</p> | <p>日本文化をよく知り、誇りを持つこと、そして他の人たちにアピールできるようにすること、それらは悪いことではない。ただ、自分たちが本当にその文化についてよく知っているか、継承者としてふさわしいかどうかを反省することのほうがいっそう重要かもしれない。そうした客観的な目を養うために、外国語の学習を役立てたい。(第5号)(第1号)</p> | <p>46~49ページ</p> |

| | | |
|--|---|-----------------|
| <p>LESSON 6</p> <p>■ The “Oldest” Village in the World</p> <p>あるイギリス人一家が沖縄県の長寿の村で知られる大宜味村を訪れ、村人の話を聞いたり料理を楽しんだりして長寿の秘密を探る。</p> | <p>多くの外国人が日本を訪れるようになったことは、とても喜ばしいことだ。ただ、ややもすると経済的な利点ばかり目が行きがちである。たくさんの来日客の中には、日本人が観光であまり行かないようなところに行き、深い体験をする人たちもいる。こうした人たちとコミュニケーションするためにも、英語学習は重要だと思えば、大きな動機付けになるだろう。(第5号)(第4号)</p> | <p>50~57ページ</p> |
| <p>LESSON 7</p> <p>■ Luminous Fog Hides the Milky Way</p> <p>天気がよい晩でも、世界の4人にひとり天の川を見ることができないといわれている。光害はもはや景観の問題だけでなく、動物の生態系や人間の睡眠にも影響を与えている。</p> | <p>昔当たり前だったことが、いつの間にか特別なことになってしまう。普段は意識にも上らなくなってしまう。その代表例が星空ではないか。日本でも相当数の人が、天の川のことは1年に1度しか思い出さない。きれいな星は、よそに見に行くものだと思込んでいる。いろいろな意味で、光害は重大だということを考えてみたい。(第4号)</p> | <p>60~65ページ</p> |
| <p>LESSON 8</p> <p>■ The Birth of the Aralqum Desert</p> <p>中央アジアに位置するアラル海はかつて世界で4番目に広がった湖だった。綿花栽培で灌がいを始め、徐々に干上がっていく湖に対し対策もとらず水を引き続けた結果、現在では砂漠と化してしまった。</p> | <p>LESSON 7の空に続いて、湖が失われた話題を読む。人間は災害その他の体験において、自然というものが私たちにとは桁違いの力を持っていることを思い知らされるが、その一方では大自然を壊滅させてしまうほどの力も持っていることも知っておく必要がある。アラル海はその最も適した題材の一つである。(第4号)(第5号)</p> | <p>66~73ページ</p> |
| <p>LESSON 9</p> <p>■ The Power of Introverts</p> <p>学校や職場では外交的な人が評価されがちであるが、実は内向的な偉人もたくさんいる。要はバランスが大事で、ひとりで考えたり作業したりすることも重要である。</p> | <p>高校生たちの中にも、人とのつきあいや、それを難しくする一因となっている自分の性格について悩んでいる者がいるだろう。そういう人たちは、得てして自分が悪いと思いがちである。しかし、時流に向いた性格でないからといって、価値が低いわけでは決してないことを知ってほしい。(第2号)</p> | <p>76~81ページ</p> |
| <p>LESSON 10</p> <p>■ How to Fall in Love with Anyone</p> <p>ある有名な心理学者が、初めて出会ったふたりが恋に落ちる方法を考え出した。その方法を筆者は実践する。</p> | <p>恋愛は、高校生にとって最も関心のあつたトピックの一つだろう。初めて出会ったふたりが必ず恋に落ちる方法というさんくさそうな話題を、一流の心理学者の学説に従って、まじめに挑戦した話からは、恋愛だけでなく、人間の心についても深く考えさせられる。(第3号)</p> | <p>82~87ページ</p> |

| | | |
|---|---|-------------------|
| <p>LESSON 11</p> <p>■ Don't Be Deceived: Evaluating Numbers</p> <p>数字データを見るより図表で示されると一目瞭然で分かったような気になる。しかし、表示の仕方で意図的に違う印象を与えることがあるので、そのまま受け入れるのではなく、きちんとした根拠があるのかどうか見極めることが大切である。</p> | <p>世の中、情報が溢れ、何が価値ある情報か見分けにくくなっている。近年では公の地位に就く人さえ、平気で偽りの情報を発信するようになり、ますます自分でしっかりした見方ができることが重要になってきた。ここでは、正しい数値を元にしたグラフさえ、真実を語るには限らないことを学ぶ。(第1号)</p> | <p>92~99ページ</p> |
| <p>LESSON 12</p> <p>■ Language and the Shape of Thought</p> <p>言語の文法の型が、その話し手の考え方の型を反映しているという考えが仮説として知られているが、この考え方を信じるのは慎重にすべきだ。関心のある事柄に対したくさんの語彙を持っているだけで、心理が徹底的に異なっているわけではない。</p> | <p>生まれたときから異なる言語を話していれば、考え方も違ってくるのは当たり前、と感じている者は意外に多いのではないだろうか。だから違って当たり前と主張する者もいる。しかし、冷静に考えれば、言葉の違いが考え方の違いに直結するわけでもなければ、言葉の違いが相互理解の根本条件になるわけでもないことを、読み取ってほしい。(第5号)</p> | <p>100~104ページ</p> |
| <p>LESSON 13</p> <p>■ The Future</p> <p>環境運動家としても知られ、ノーベル平和賞を受賞したアメリカ合衆国の元副大統領アル・ゴア氏のエッセイを読む。地球の生態系が大きく変わった原因は気候の変動である。この危機を解決するために、再生エネルギーの使用への移行など、われわれ一人ひとりができることを行うことが重要である。</p> | <p>地球規模の環境問題について、新しい情報も入れながら、的確に問題点が整理され、頭の中が整頓されるようなエッセイを読む。今後この重要な問題を考える際の基盤となるような内容である。(第4号)</p> | <p>108~113ページ</p> |
| <p>LESSON 14</p> <p>■ Is "Eco-friendly" Really Green?</p> <p>エコをうたっている商品でも、ある特定の良い面を強調して、隠れたところで環境負荷を与えていて、見せかけのものであるものが大半である。製品の製造、流通全体を改善し、環境負担の少ない製品作りをしていくべきである。</p> | <p>ここではエコ商品が悪いといっているのではない。私たちのエコ技術が、まだまだ不十分であることを自覚する必要があると述べている。今まで常識だと思っていたことが必ずしもそうではないことを知るという意味でも役に立つ。(第4号)</p> | <p>114~119ページ</p> |

| | | |
|---|--|-------------------|
| <p>FOR READING</p> <p>■ The Model Millionaire</p> <p>元軍人の娘 Laura との結婚を望む Hughie は、父親に「自分で 1 万ポンド稼ぐまでダメだ」と言い張られる。ある日 Hughie は画家の友人宅で貧しい身なりをした老人をモデルにして絵を描いているところに会う。不憫に思った Hughie は、彼にポケットの中から唯一の 1 ポンドを渡す。しかし、その老人が実は変装した男爵であったことが友人によって知らされる。笑い転げる Alan を後に、家に帰った Hughie。彼は翌朝老人から受け取った手紙には…。オスカー・ワイルドの皮肉の効いた楽しい小説を読む。</p> | <p>正課では、ノンフィクションが圧倒的に多かった。最後にここまで養ってきた英語力で十分楽しめる小説を読む。オスカー・ワイルドという、ずいぶん昔の一流作家の作品を原文のまま読むが、助けになるよう、注を多めに入れた。高校教科書の英語学習の最後として、英語を読む楽しみを味わってほしい。(第 1 号) (第 2 号)</p> | <p>121~132ページ</p> |
|---|--|-------------------|

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

指導要領に示された英語での授業を前提とし、日本語の使用はできる限り避けた。例えば問題の指示文は英語に統一し、教師が英語で問いかけ、生徒もまた英語で答えるように意図し、外国語を通じてコミュニケーションをとる授業の形態を想定した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

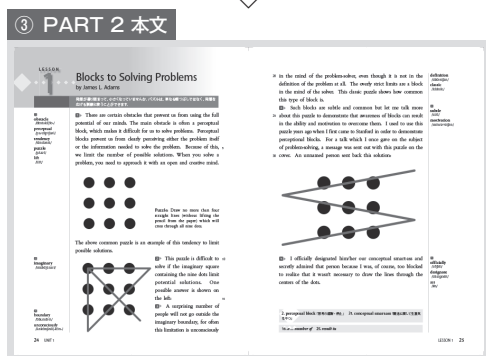
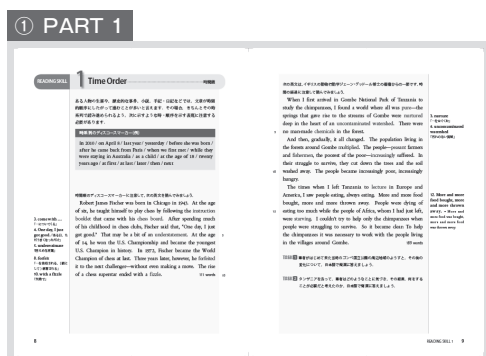
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|---|------------------|-----|
| 29-49 | 高等学校 | 外国語科 | コミュニケーション 英語Ⅲ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 109文英堂 | コⅢ 339 | NEW EDITION UNICORN English Communication 3 | | |

1 編修上特に意を用いた点や特色

種目名に「コミュニケーション」を冠した教科書として、社会生活の根底といえる他者とコミュニケーションをとる能力の養成に重きを置き、生徒の生きる力を育むことを主たる目標とした。

上記目標の実現のために、コミュニケーションに必要と思われる判断力や表現力はもちろんのこと、外国語を学ぶ以上不可欠である文法や語彙などに関する基礎的な知識及び技能について網羅し、生徒が興味を持って学習に取り組むことができるよう多様な題材や内容を用意した。

教科書の構成は以下のとおりである。



A 最初にリーディングの基本をまとめる

① PART 1 READING SKILL 1~7

●PART 1の位置づけ

・短めの英文を用いて、典型的な論旨の展開を学び、読解のための基本的なスキルを押さえます。

●各READING SKILLの構成

- ・READING SKILL 1 — 時間順 (Time Order)
- ・READING SKILL 2 — 列挙・例示 (Listing / Examples)
- ・READING SKILL 3 — 比較・対照 (Compare and Contrast)
- ・READING SKILL 4 — 原因・結果 (Cause and Effect)

以上4課では、パラグラフの展開パターンをつかんで、的確な読み方を学びます。

・READING SKILL 5 — 代名詞 (Pronouns)

疎かにすると、英文読解の大きな障害となる代名詞について学びます。それぞれ何を指しているのか考えながら読む習慣をつけます。

・READING SKILL 6 — 論理展開 (Reasoning)

事実か、著者の意見かを意識することなどにより、主張に対して説得力のある論拠が示されているかを確認することも重要です。

・READING SKILL 7 — スキミング (Skimming)

ここまで学んだ手法を駆使して、速く的確に文意を把握できるようにします。

B 読解を深め、自己発信へ

② PART 2 UNIT 1~7 (LESSON 1~14)

●PART 2の位置づけ

・PART 1 で学んだスキルを適宜応用して、まとまった量の英文を読みます。

・単に読んでおしまいにするのではなく、4技能を使って発信できるようにするための目標として、各UNITにTARGETを設定するとともに、COMPREHENSIONの最終問題にはアウトプットするための設問を置きました。

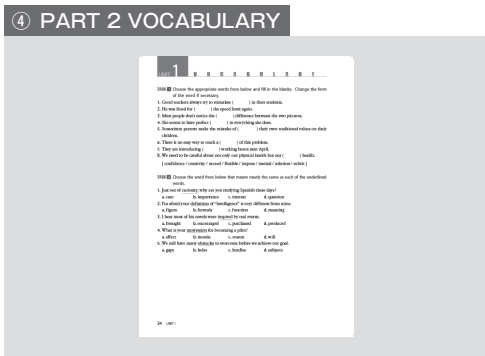
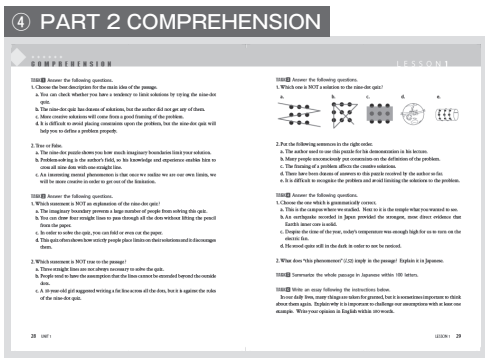
●UNIT

・1~7のUNITは、大きなテーマごとに分けられていて、それぞれ2つのLESSONから成り立っています。

・最初は500語程度の文から始まり、あとに進むほど長くなって、1000語を越える文も出てきます。

●TARGET

・各UNITには、それぞれ3項目からなるTARGETを置きました。CAN-DOリスト作成にも対応できます。



● LESSON

◎ 本文

- ・本文を読んでいるときに確認しやすいよう、新出語は発音記号とともに本文横(側注)に示されています。
- ・脚注には、語句の解説・日本語訳と、本文中に現れる代表的なイディオム(巻末に例文があります)、及びリーディング・スキルの手引きを載せています。

◎ COMPREHENSION

- ・さっと読んで要点をつかむ力、じっくり読んで深く的確に文意を読み取る力の両方が身につけられるよう、段階を追って答えられるよう工夫しました。
- TASK 1: True or False問題。本文を読んだあとに全体の内容がつかめたかどうかを確かめる問題。
- TASK 2: 本文の流れを大まかにとらえるための問題。
- TASK 3: 本文の要約文を完成させる問題。
- TASK 2, 3は2回目以降の読みのあとに行うことによって、より高い効果が得られます。
- TASK 4: 本文の具体的な箇所について英文の構造や意味をきちんと読み取れているかを確認するための問題。
- TASK 5: 本文の内容を100字の日本語でまとめるサマリー問題。
- TASK 6: 本文の内容をふまえて、実際に英文を書いたり、聞き取ったりする活動。

◎ VOCABULARY

- ・各UNITの2つの課から重要語をとりあげ、トレーニングを通じて語彙の定着を図ります。

C 本課での学習成果をフォローする特別ページと付録

- **BUILDUP:** リーディングとリスニングのための基本的な注意事項をまとめました。
 - **FOR READING:** 教科書の最後に、ここまで扱えなかった小説を載せました。本物の英語の小説を読む楽しみを味わえるよう、原文のまま掲載する代わりに、多めに注を入れました。本文読解後には、理解を確認できるCOMPREHENSIONを置きました。
- ◀付録▶
- ◎ **TARGET 一覧:** PART 2の各UNITの扉ページに示されているTARGETの日本語訳一覧。
 - ◎ **GLOSSARY:** 著者紹介を含む資料ページ。本文についてさらに理解を深めるための背景知識を確認します。
 - ◎ **ILLUSTRATIVE SENTENCES:** PART 2の本文中に現れる新出イディオムについて、例文を提示しました。
 - ◎ **PHRASE LIST:** 本文脚注に示した語句をアルファベット順に並べて示しました。
 - ◎ **WORD LIST:** 本文の新出単語、およびコミュニケーション英語1, 2出現の重要語をアルファベット順に並べて示しました。

2

対照表

コミュニケーション英語Ⅲの「内容」

(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。

- ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|----------------------|------------------------|--------|----------|
| READING SKILL 1 ■ 本文 | イ(ある主題の文を時間の経過に注意して読む) | 8-9ページ | 1 |

| | | | |
|--------------------------------------|--|-----------|---|
| READING SKILL 2 ■ 本文 | イ(ある主題の文を読んで、何に対する具体例を列挙しているのか読み取る) | 10~11 ページ | 1 |
| READING SKILL 3 ■ 本文 | イ(ある主題の文を読んで、何と何を比較しているのかを読み取る) | 12~13 ページ | 1 |
| READING SKILL 4 ■ 本文 | イ(ある主題の文を読んで、ものが起きた原因と結果を読み取る) | 14~15 ページ | 1 |
| READING SKILL 5 ■ 本文 | イ(ある主題の文を読んで、本文中の代名詞が指すものに注意しながら読む) | 16~17 ページ | 1 |
| READING SKILL 6 ■ 本文 | イ(ある主題の文を読んで、筆者の考えと事実を区別しながら読む) | 18~19 ページ | 1 |
| READING SKILL 7 ■ 本文 | イ(ある主題の文を、主旨をすばやくつかみながら読む) | 20~21 ページ | 1 |
| BUILD UP 1 | イ(意味のまとまりに注意しながら英文を読む) | 22 ページ | 1 |
| LESSON 1 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(パズルの問題に対する筆者の意見とその根拠となる例を読み取る) エ(日頃、当然と思われていることについて改めて考えることの重要性について、例を挙げながら書く) | 24~29 ページ | 5 |
| LESSON 2 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(創造性についての評論を読み、本文中の重要な語に注意しながら読む) ウ(どんな場合に自分が創造的と思うか説明する) | 30~33 ページ | 5 |
| LESSON 3 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(監視カメラの設置の是非に関する筆者の意見を読み取る) ウ(公共の場所でのカメラの設置についてどう思うか意見を交換する) | 36~39 ページ | 5 |
| LESSON 4 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(人工知能の進歩による仕事の形の影響についての評論を読み、どの業種がどのような影響を受けるか整理しながら読む) ウ(法律、経済、接客業が科学技術と共存可能な例、証拠や情報を調べ、状況を説明する) | 40~43 ページ | 5 |
| LESSON 5 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(和食の特色についての説明を読み取る) エ(ファーストフードの必要性について自分の意見を書く) | 46~49 ページ | 5 |
| LESSON 6 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(沖縄を訪れたときのエッセーを読んで、事実と筆者の意見を読み取る) エ(エッセーを通して筆者が言いたかったことについて書く) | 50~57 ページ | 6 |
| LESSON 7 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(光害問題についての説明を読んで、光害の影響と解決策を読み取る) ア、エ(環境汚染についての文を聞き、関心のある環境問題について説明し、その解決策を書く) | 60~65 ページ | 5 |
| LESSON 8 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(アラル海で起きた現象を時間順に整理し、その現象が起きた原因を読み取る) ウ(自己の利益のために天然資源を費やした結果、環境に害を与えただけでなく、自分自身にも被害を受けた事例について一例を挙げ、その防止策について説明する) | 66~73 ページ | 6 |
| LESSON 9 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(内向的な人と外交的な人の対比について筆者の主張を読み取る) エ(自分が内向的か外交的か、なぜそう思うのかについて自分の意見を書く) | 76~81 ページ | 6 |
| LESSON 10 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(実験のステップと筆者の気持ちの変化を読み取る) エ(好きになりたいと思う人を選ぶことができるという筆者の考えについて自分の意見を書く) | 82~87 ページ | 7 |
| LESSON 11 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ(図表を注意深く読み取ることの重要性について、筆者の主張を読み取る) ウ、エ(同じ数値を示す2つのグラフを比較し、受け手がどのように解釈しがちであるか、考えを述べる) | 92~99 ページ | 7 |

| | | | |
|--------------------------------------|--|------------|------|
| LESSON 12 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ（言語の違いとその言語を話す人の考え方の関連性について、筆者の主張を読み取る） ア、エ（ふたりの会話を聞き、日本語と英語の違いについて書く） | 100~104ページ | 6 |
| LESSON 13 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ（地球の生態系が変わった原因と解決策について筆者の主張を読み取る） エ（再生可能なエネルギーの利用の是非について自分の意見を書く） | 108~113ページ | 7 |
| LESSON 14 ■ 本文 ■ COMPREHENSION | イ（エコ商品の信憑性について筆者の意見を読み取る） ア、エ（産業エコロジストの講演を聞き、要点をまとめ、自分の意見を書く） | 114~119ページ | 6 |
| FOR READING ■ 本文 | イ（物語を読んで、筆者が話に込めた思いを読み取る） | 121~132ページ | 7 |
| | | | 計 96 |

(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|-------------------|--|---|----------|
| BUILD UP | ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 | 22, 89~90ページ | |
| TARGET | イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること | 23, 35, 45, 59, 75, 91, 107ページ | |
| READING SKILL 1-7 | | 8-21ページ | 7 |
| LESSON 1 | | 24~29ページ | 5 |
| LESSON 11 | | 92~99ページ | 7 |
| UNIT扉 | ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 | 23, 35, 45, 59, 75, 91, 107, 121ページ | |
| COMPREHENSION | エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 | 29, 33, 39, 43, 49, 57, 65, 73, 81, 87, 99, 104, 113, 119, 132ページ | |
| | | | 計 19 |

「英語に関する各科目に共通する内容等」

1 言語活動を行うにあたり、[言語の使用場面の例] 及び [言語の働きの例] を以下の箇所で取り上げた。

[言語の使用場面の例]

- a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面
c 多様な手段を通じて情報などを得る場面

[言語の働きの例]

- a コミュニケーションを円滑にする b 気持ちを伝える c 情報を伝える
d 考えや意図を伝える e 相手の行動を促す

| 図書の構成・内容 | 該当箇所 | 言語の使用場面 | 言語の働き |
|--------------------------|-------|---------|-----------------------|
| LESSON 1 ■ COMPREHENSION | 29ページ | b(日常生活) | d(主張する) |
| LESSON 2 ■ COMPREHENSION | 33ページ | b(発表) | c(説明する) |
| LESSON 3 ■ COMPREHENSION | 39ページ | b(発表) | a(相づちを打つ、など), d(主張する) |
| LESSON 4 ■ COMPREHENSION | 43ページ | b(発表) | c(説明する) |
| LESSON 5 ■ COMPREHENSION | 49ページ | b(日常生活) | d(主張する) |
| LESSON 6 ■ COMPREHENSION | 57ページ | b(発表) | c(推論する) |
| LESSON 7 ■ COMPREHENSION | 65ページ | c(音声) | b(心配する), d(考えを述べる) |
| LESSON 8 ■ COMPREHENSION | 73ページ | b(社会) | c(例を述べる), d(主張する) |
| LESSON 9 ■ COMPREHENSION | 81ページ | b(日常生活) | c(理由を述べる) |

| | | | |
|---------------------------|--------|---------|---------|
| LESSON 10 ■ COMPREHENSION | 87ページ | c(実験内容) | d(主張する) |
| LESSON 11 ■ COMPREHENSION | 99ページ | c(グラフ) | c(説明する) |
| LESSON 12 ■ COMPREHENSION | 104ページ | a(会話) | c(説明する) |
| LESSON 13 ■ COMPREHENSION | 113ページ | b(社会) | d(主張する) |
| LESSON 14 ■ COMPREHENSION | 119ページ | a(講演) | d(主張する) |

2 言語活動を行うにあたり、指導要領に示された言語材料を以下の箇所に取り上げた。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 |
|---|--|---|
| 新出単語は学習指導要領で定められた700語をやや下回る695語とした。 | ア 語、連語及び慣用表現 (ア)語 | 148~159ページ |
| 各UNIT末のVOCABULARYやFOR READINGの読み物のページを学習することにより、さらに増補することができる。 | b「コミュニケーション英語Ⅲ」 にあつては、bに示す語に 700語程度の新語を加えた語 | 34, 44, 58, 74, 88, 105, 120, 122~130 ページ |
| 慣用表現の一覧と例文を巻末に示した。 | (イ) 連語及び慣用表現のうち、 運用度の高いもの | 142~147ページ |
| 主語+動詞+ifで始まる節 主語+動詞+間接目的語+ifで始まる節 主語+動詞+目的語+分詞 主語+seemなど+to不定詞 It+seemなど+thatで始まる節 | イ 文構造のうち、運用度の高 いもの(初出ページ) | 85ページ 50ページ 9ページ 18ページ 92ページ |
| READING SKILL 1 READING SKILL 1 READING SKILL 2 READING SKILL 1 LESSON 6 READING SKILL 4 | ウ 文法事項(初出ページ) (イ)関係代名詞の用法 (ウ)関係副詞の用法 (エ)助動詞の用法 (カ)動詞の時制など (キ)仮定法 (ク)分詞構文 | 9ページ 9ページ 10ページ 9ページ 52ページ 14ページ |

3 2に示された言語材料を用いるにあたり、次の事項に配慮した。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|--|---|----------------|----------|
| アメリカ英語を基本としたが、新出単語のうち発音に著しい違いがあるものについてはイギリス音を併記した。 | ア 現代の標準的な英語によること。ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。 | 全課 | 103 |
| 一部のCOMPREHENSION | イ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。 | 29, 49, 113ページ | |
| 一部のCOMPREHENSION | ウ コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造、文法事項などの取扱いについては、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、実際に活用できるよう指導すること。 | 29, 49, 113ページ | |
| 計 | | | 103 |

4 生徒が英語に触れる機会を充実させるため、以下の諸点に留意した。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|---|---|--------|----------|
| PART 2の問題の指示文は英語に統一し、外国語を通じてコミュニケーションをとる授業の形態を想定した。 | 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。 | 23~132 | 88 |
| 計 | | | 88 |